

気象庁地磁気観測所 研究官公募

1. 職名／人員

地磁気観測所観測課 研究官 1名（国家公務員研究職への採用）

2. 職務内容

地磁気定常観測の精度維持・向上とともに、火山における地下浅部の熱活動に伴う地磁気変化の解析精度向上を目指して研究を行う。地磁気観測所では、調査研究計画の重要課題として「電磁気による火山活動評価の高度化に向けた調査」（令和5～7年度）を進めており、本課題及び後継課題に従事する。

また、地磁気観測データを用いた解析を行うための技術開発（AIを用いた技術開発を含む）や、異なるシステム間で連携したデータ処理を行う情報処理技術の開発を行う。

3. 勤務地

茨城県石岡市柿岡 595

4. 待遇等

① 給与等

「一般職の職員の給与に関する法律」に基づき研究職俸給表（2級）を適用し経験等を勘案して決定します。

〈給与モデル〉

大学院博士課程修了後、研究員として国、独立行政法人または民間の研究機関に4年間勤務した勤務経験を有する場合年収約530万円（月収32万円）

※年収には期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス等）を含みます。この他に支給要件を満たした場合は扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当等を支給します。

②勤務時間、休暇

勤務時間は1日7時間45分、原則として土・日曜日及び祝日等の休日は休みです（土日祝日を含む当番制となる可能性もあり、この場合は1週間当たりの公休は平均2日です）。

休暇は年20日の年次休暇（採用の年はこれより少ない場合が有ります。残日数は20日を限度として翌年に繰越しされます）のほか、病気休暇、特

別休暇（夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等）、介護休暇等があります。また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）支援制度として、育児休業制度等があります。

5. 応募資格

以下のいずれも満たす者

- ①採用時において、博士の学位を有する者
- ②地球電磁気学または地球物理学（火山学）に関する高度かつ広範な知見と研究業績を持っている者
- ③計算機（OS: LINUX）及びシステム開発等の情報処理技術について十分な利用経験を持っている者

次のいずれかに該当する方は応募できません。

（ア）日本の国籍を有しない者

（イ）国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者

- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

- ・一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者。

- ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

（ウ）平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とするもの以外）

（エ）採用予定時期までに国家公務員法第81条の6に定める定年に達する者（令和8年度における定年年齢は62歳）。

6. 公募締切

令和8年1月5日（月）17時（必着のこと）

7. 提出書類

①履歴書（市販の用紙可、写真貼付）1通

- ②学位取得（見込）証明書 1 通
- ③主要研究業績一覧表（論文、著書、解説） 1 通
- ④主要論文の別刷り（5 編以内、複写可）各 1 通
- ⑤これまでの研究内容と今後の研究の抱負
（3, 0 0 0 字程度） 1 通

8. 書類提出先／照会

〒3 1 5－0 1 1 6 茨城県石岡市柿岡 5 9 5

地磁気観測所 総務課（吉村、浦川）

メールアドレス：kakioka@met.kishou.go.jp

Tel：0 2 9 9－4 3－1 1 5 1

提出書類はメールアドレス宛送付または封筒に「観測課研究官応募書類在中」と朱書きし書留で送付のこと。

9. 選考方法

地磁気観測所選考採用委員会による書類審査（第1次）、地磁気観測所において対面での面接（第2次）（令和8年1月中旬～下旬予定）を経て採用を決定します。

10. 採否の通知

書面により応募者あてに通知します。

11. 採用時期

令和8年4月1日予定（採用日については応募相談）

12. 備 考

研究官の職位は大学における助教ポストに相当します。任期付ではありません。採用後は気象庁職員としての適性を考慮のうえ、他の研究計画や、行政職等他の業種への配置転換、及び他の気象官署への転勤もあります。

13. 注意事項

応募の秘密については厳守します。また、応募書類については選考の目的に限って使用し、選考終了後は、研究官で採用された方の情報を除き、全ての個人情報 は当方で責任を持って処分します。